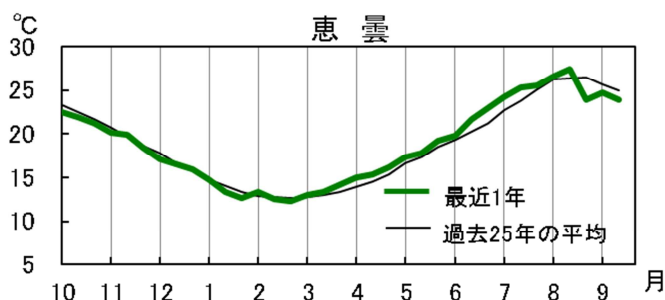
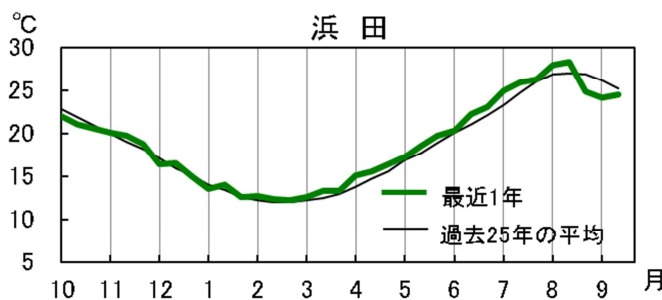




《8～9月の海況》

8月	月平均	平年差	評価
浜田	26.9℃	±0.0℃	平年並み
恵曇	25.7℃	-0.6℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区では、8月上旬は「やや高め」、中旬は「平年並み」、下旬は「やや低め」となり、9月に入り中旬時点で「やや低め」で経過しています。恵曇地区では、8月上・中旬は「平年並み」、下旬は「かなり低め」となり9月に入り中旬時点で「平年並み」で経過しています。



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.8トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は196トンで平年の3倍となりましたが、マアジは64トンで平年の5割程度となりました。隠岐地区ではブリ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は21.3トンで平年を下回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは1,092トンで平年の1.8倍となりましたが、マアジは573トンで平年の3割程度、サバ類は349トンで平年並みとなりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の89%)とスルメイカ(全体の11%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は244kgで平年を上回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ(ほぼ100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は30kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、ムシガレイ、キダイを主体に、1統1航海当たり漁獲量は11.1トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、アカムツは平年の3倍、ムシガレイは平年の4割、キダイは平年の2.2倍でした。その他、アマダイは平年の8倍、カワハギ類は平年の2.5倍、マアジは平年の1.9倍の水揚げだった一方、ケンサキイカ、アナゴ類は平年の5割の水揚げに留まりました。

【ばいかご漁業】

石見地区のばいかご漁業における総漁獲量は20トン、1隻1航海当りの漁獲量は958kgで平年の1.4倍となりました。また主漁獲対象であるエッチュウバイの漁獲量は17トン、1隻1航海当りの漁獲量は793kgで平年の1.4倍となりました。ただし、エッチュウバイの単価がやや下落したため、総漁獲金額では前年の1.1倍程度に留まりました。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は2.6トンと平年の1.5倍となりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、シイラは58トンで平年並み、ヒラマサは3トンで平年の3倍となりました。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ、サワラ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は13.8トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の2.5倍、マアジは平年の1.7倍、サワラ類は平年の6割の漁獲量でした。石見地区ではブリ、マアジ、サワラ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は10.8トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の2.9倍、マアジは平年並み、サワラ類は平年の8割の漁獲量でした。隠岐地区ではブリ、ヒラマサ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は14.0トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の1.8倍、ヒラマサは6.9倍の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は21kgで平年を下回りました。石見地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は14kgで平年を下回りました。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、マダイ、キダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は17kgで平年を下回りました。

【平成 28 年 8 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	289トン	128%	130%	13.8トン	158%	191%	◎
	隠岐	ブリ、マアジ、サバ類	2,701トン	42%	66%	21.3トン	46%	72%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ、ケンサキイカ	23トン	223%	63%	244kg	223%	148%	◎
	西郷	ケンサキイカ	3.5トン	34%	26%	30kg	52%	52%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、ムシガレイ、キダイ	167トン	112%	98%	11.1トン	112%	108%	○
ばいかご	石見	エッチュウバイ	20トン	102%	128%	958kg	111%	143%	◎
しいら漬け	石見	シイラ	60トン	119%	95%	2.6トン	164%	145%	◎
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ、サワラ類	179トン	77%	116%	13.8トン	77%	116%	○
	石見	ブリ、マアジ、サワラ類	43トン	71%	82%	10.8トン	71%	90%	○
	隠岐	ブリ、ヒラマサ	42トン	91%	132%	14.0トン	91%	132%	◎
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	48トン	82%	69%	21kg	99%	87%	▲
	石見	ケンサキイカ	28トン	57%	52%	14kg	85%	73%	▲
	隠岐	カサゴ・メバル類、マダイ、キダイ	16トン	78%	52%	17kg	93%	81%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

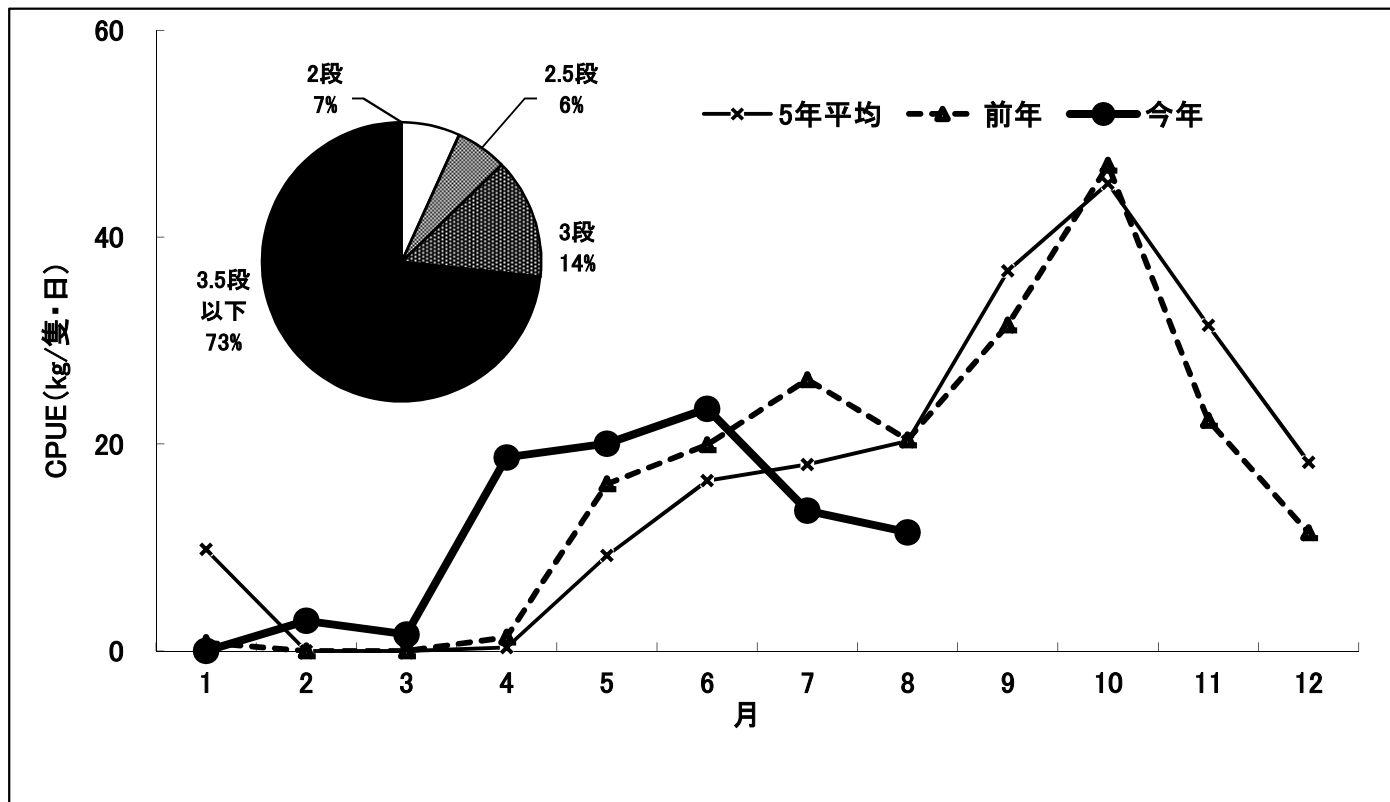
※前回 8 月号 P.1 【中型まき網漁業】の記載に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。（訂正稿は HP に記載しております）

【ケンサキイカ情報】

今月号は島根県のみケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）情報を掲載いたします。

I：8月のイカ釣り漁況

主要漁港データ（5t未満船）を利用しています。折れ線グラフはCPUE（1日の1隻当りの漁獲量 kg）、円グラフは銘柄割合を示しています。



II：9月上旬の底層水温

島根県沖の陸棚上の底層水温は、水深80～140mが8.3～18.5℃、それ以深が6.0～6.9℃でした。